



自立・共生・協働による まちづくりを目指して

旭市議会議長 向 後 和 夫

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、希望に満ちた新しい年を健やかに迎えのことに心からお喜び申し上げます。

私は昨年の十二月議会において、議員各位のご推挙により第五代議長に就任いたしました。浅学非才の身ですが、旭市発展のために全力を傾注する所存ですので、よろしく願います。

さて、新旭市が誕生してから早いもので、本年の七月で四年を迎えます。当市議会は、これまでも新旭市が抱えるさまざまな問題を市当局と真摯に議論を重ねてまいりましたが、合併後四年を迎えるのを機会に議員定数や議会中継のインターネット配信その他、新市の議会の在り方など、市民により開かれた議会を目指して検討しているところでございます。

話は変わりますが、わが国の経済はアメリカ発の金融危機の影響で円高・ドル安となり、それに伴い株価が急落して実体経済に悪影響を及ぼしております。また食の問題でも中国の冷凍ギョーザ事件や汚染米および産地偽装等により、その安全を脅かしております。さらに、ねじれ国会に象徴されるようにわが国は政治も経済も混沌としており、国民生活にさまざまな影を落としております。一方、地方の財政は、バブル経済崩壊後の度重なる景気対策による、公共事業の追加や減税対策の実施等に

より、借入金残高が累積して、今後その元利償還が財政を圧迫することから、構造的にみて極めて厳しい状況下にあるようです。さらに急激に進む少子高齢化等による保健・福祉・医療などの公共サービスの増大・多様化などにより、今年も極めて多難な年になると予想されます。当市においても合併以来厳しい財政状況は変わりませんが、市民生活に不可欠な保健や福祉さらに医療や環境問題など、時代にあった総合的な行政サービスが求められております。

また、市の基幹産業である農業・漁業の振興、地域の特性を生かした観光や商工業の振興および病院の再整備など、市が果たすべき事柄が山積しており、それらを総合的に実施するには、引き続き行財政の合理・簡素化が求められております。当市議会としては市が実施する事務事業に対し、市当局と活発な議論を交わしながら、行政に対してのチェック機能を十分発揮して「自立・共生・協働によるまちづくり」を目指し、議会と執行部が切磋琢磨しながら、より良い旭市づくりに努めてまいりたいと思います。

市民の皆さまには、市議会に對しまして、なお一層のご理解とご協力をお願いするとともに、皆さまのご多幸とご健勝を重ねてご祈念申し上げまして、新年のごあいさついたします。

